

IgG4		7460500			
		担当部署			
IgG4		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟 3階 中央検査部			
測定時間		当日中~翌日			

生物学的基準範囲		11～121mg/dL N-アッセイ LA IgG4 ニットーボー 試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
11	121	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>2001年に自己免疫性膵炎に高率にIgG4血症を認めることが明らかにされて以来、近年、IgG4関連疾患が新規疾患として注目されている。</p> <p>しかし、未だその概念や診断・治療法は確立されてはいない。</p> <p>現状では、リンパ球とIgG4陽性形質細胞の著しい浸潤と線維化により、同時性あるいは異時性に全身諸臓器の腫大や結節・肥厚性病変などを認める原因不明の疾患であると考えられている。</p> <p>146 モダンメディア 57巻5号2011 [新しい検査法] IgG4測定方法と正常値、診断的意義</p>				